

府省名	厚生労働省	部署名	大臣官房人事課
取組者	鈴木 高太郎、外9名		

### 取組のポイント

マネジメントの徹底による業務効率化、長時間労働の縮減の取組の一環として、特に若手職員の早期退庁を促すために「りんばん定時退庁」を進めている。大きくり化した係、若しくは複数の係の単位で、係長・係員が毎日順番に定時退庁するものであるが、「若手職員の業務効率化への気づき」や「上司による積極的マネジメント」につながっており、若手職員からは「目標を立てて仕事をすることで集中力がアップする」、「プライベートの予定が計画的に確保でき、モチベーションがアップする」等の声が聞かれる。

### 取組概要

#### 【取組の背景】

これまで「一斉定時退庁日」の設定や当該日における早期退庁を促す一斉メール配信等は行っていたものの、各職員の意識改革にはつながりにくい面があった。「りんばん定時退庁」の取組は、若手を中心とした「職員それぞれの気づき」と「上司のマネジメント向上」が期待される。本取組は業務におけるチーム内での自発的な行動変容が重要であるため、これをどう促し、根付かせていくかが重要と認識している。

#### 【取組の内容】

りんばん定時退庁は、大きくり化した係、若しくは複数の係の単位で、係長・係員が毎日順番に定時退庁を行う取組である。順番を設定することで、定時退庁する職員は日中の業務の生産性向上に取り組む、補佐クラスの職員は、定時退庁を予定する職員が必ず定時退庁できるよう、業務マネジメントと勤務時間マネジメントに取り組むこととなる。また、国会対応等の業務についても、その日に定時退庁する職員以外の職員が連携して対応し、チーム内で業務が補完される。こうした取組により、退庁しやすい雰囲気醸成、生産性向上による業務改革への気づきのほか、部下への声かけ、目配り、気配りを通じた積極的マネジメント、業務改革の提案・推進等につながっている。

#### 【取組の成果】

例えば、複数係の係長・係員10人のチームで取り組むと単純計算で10%の超勤削減効果が見込まれる。また、若手職員からは「目標を立てて仕事をすることで集中力がアップする」、「プライベートの予定が計画的に確保でき、モチベーションがアップする」等の声が聞かれる。今後、こうした取組を省内に展開すべく、周知を行っている。

厚生労働省-3

#### りんばん定時退庁 (交替で定時退庁にトライ！)

- 大きくり化した係、若しくは複数の係の単位で、**係長・係員が順番に定時退庁を行う。**
- 定時退庁する職員は、定時に業務を終わらせるよう、**日中の業務の生産性向上**に取り組む。
- 補佐クラスの職員は、**定時退庁を予定する職員が必ず定時退庁できるよう、業務マネジメントと勤務時間マネジメント**に取り組む。
- 夕刻以降に生じた業務（※国会対応等）については、**定時退庁した職員以外の職員が連携して対応する。**

##### 係長・係員クラスのメリット

- WLBの向上
- 生産性向上の取組みによる業務改革への気づき
- 上司からの積極的なマネジメント
- 上司へ相談しやすい雰囲気醸成
- 他の職員の業務内容の把握（※国会対応等への対応力強化）
- 退庁しやすい雰囲気醸成

##### 補佐クラスのメリット

- 部下への声かけ、目配り、気配りを通じた積極的マネジメント
- 部下の業務処理状況を踏まえた、生産性向上、業務改革の提案・推進

##### 超過勤務削減メリット

- 例えば、複数係の係長・係員10人の間で取り組むと単純計算で10%の超過勤務削減効果
- 機力、順番に定時退庁させることで、一斉定時退庁日などの取組みよりも効果的
- 生産性向上の意識が醸成されることで、係全体の超過勤務削減効果も期待

- ・係の大きくり化
- ・フレック
- ・フリーアドレス

} これらの取組みと併せて実施するとより効果的

講 評

「りんばん定時退庁」の取組を、職員間のコミュニケーション改革や、若手職員の業務効率化への気づき、上司による部下への積極的マネジメントにつなげているほか、若手職員のやりがい向上にも功を奏しており、高く評価できる。